

根が土の中に着くことを根を張るといいます。芽が出始めたときの根は細くて土から抜けそうです。



そこで、根元に土を集めて根を守ることを土寄せといいます。

●土寄せのポイント

畝と畝の間の土をスコップでこすりとって、双葉の根元に集め、上から指でそっと押さえてあげよう。大根の根が大きくなってきたら、は倒れる心配もあります。土寄せは繰り返しておこないましょう。

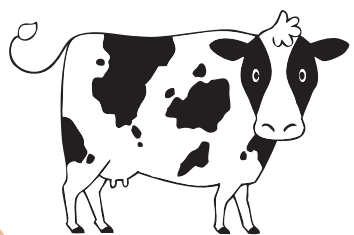


●調べてみよう

「根を張る」と同じように、「根」を使った言葉は、「根付く」「根強い」の他にどんな言葉を知っていますか？

大根が育つために必要な栄養分は土の中にもあります

が、不足分を補い、より効率的に栄養を与えるために肥料をつかいます。



ところで、どんな栄養分が必要なの？

●調べてみよう

牛糞の肥料にはどんな栄養が含まれているのでしょうか？なぜ、牛糞を使っているのかな？

●ワンポイントアドバイス

肥料は、根元から少し離して、土の上にまきましょう。



●作物に必要な栄養分とは

三大栄養はチッソ、カリウム、リンです。そして、カルシウム、マグネシウム、鉄、また、ホウ素、硫黄、銅、亜鉛、マンガンをはじめ、様々な栄養をバランスよく与えることが大切です。

虫は葉や茎を食べます。葉が無くなると光合成ができなくなります。

新芽や茎を食べられると、大根は育ちません。

虫を土の上に落としただけでは、また戻ってきます。

必ずつぶしましょう。



●害虫写真当てクイズ

- ① シンクイムシは新芽が大好物。葉の根元に隠れているので、つまようじでほじくり出そう。
- ② カブラハバチの幼虫は真っ黒。土の上に落ちて隠れるので、よく見て拾い出そう。
- ③ アブラムシはセロテープなどでとりのぞきましょう。
- ④ 青虫は蛾や蝶の幼虫。指先でつまんで足でつぶしましょう。



●長池小学校の間引き

- ① 本葉が出たところに3〜4本を残して間引きます。
- ② その2週間後に2〜3本を残して間引きます。
- ③ 十月中頃には1本にします。

5つまいた種のうち、発芽した中から少しずつ間引いて、最後は一本の大根を収穫します。

残す大根と一緒に抜けないように指で押さえて、間引く茎をゆっくり引き抜くのがコツ。



●どの芽を間引けばよい？

- ① 他と比べて葉が小さい。
 - ② 茎が細くて長い。
 - ③ 葉が枯れている。
- 青々と元気な株を残します。

